



令和7年度

すくわくプログラム活動報告書
『世界』

(実施対象：3～5歳児)

ひなたの丘保育園

テーマ

世界

設定理由

昨年度の活動から引き続き世界への興味が続き、新たに国旗に興味を持ち始めたため。

活動のねらい

それぞれの国の特色に興味を持ち、世界への興味を広げていく。

対象クラス

3歳児/10名 4歳児/11名 5歳児/5名

スケジュール

令和7年4月～令和8年3月

いろんな
模様がある…



マックス先生の
国はどこ？



シンガポールは
カオマンガイが
有名なんだ！



自分たちで 国旗カルタを作ってみよう！

- 国旗図鑑に興味を示し、世界の国々を知っていくことを楽しんでいたため、国旗カルタを自分たちで作ると、国旗と国名を一緒に覚えながら、学年問わず夢中になって遊んだ。
- また、オンラインで外国の子どもたちとの交流を図る中で、各国の有名な料理や建築物に物に興味を示し、自ら調べる姿が見られた。

活動のために準備した
素材や道具・環境設定

子どもたちの育ち

- 国旗図鑑・国旗一覧表・地球儀・世界地図パズル・世界タッチ（オンライン交流）
- 国旗に興味を持ち、色や模様の違いから“国”というものを知り、国旗と国名を一致させることを楽しむ。
- 国旗やオンライン交流をきっかけに、様々な国の特徴や文化を“知りたい”と思う好奇心や探求心が育まれていた。

必要な材料を
書いておくれ。



スペイン料理の「ピンチョス」を 作りました！

サグラダファミリア
はキラキラしてた！



日本のお寿司、
美味しい♪



夏まつりで 作品を展示しました。

- 様々な国の特色について調べる中で、スペインの“ピンチョス”という料理を作ってみたいという声上がり、自分たちで繰り返し『ピンチョス会議』を行い、材料や作り方の情報を集め、クッキングを実施する。
- スペインのサグラダファミリアなど、世界の建築物に興味を持つ中で、「日本で有名なのはスカイツリーや東京タワーかな」と、自分たちの住んでいる日本にも目を向け、廃材を使った制作を通して建物を再現し始める。

環境のために準備した
素材や道具・環境設定

- 世界の食べ物の本・メモ用紙・筆記用具・クッキング用品・買い出しのためのお金
- 廃材（牛乳パック・筒・空き箱など）・紙粘土・タイル・建物の写真

子どもたちの育ち

- “やってみたい”と発信したことに対して、どうしたら実現するか・どんなことが必要であるかを子どもたち同士で話し合い、計画したことで主体性が育まれた。
- これまで楽しんできた廃材遊びの経験を基に、本物に近づけようと、工夫したり、アイデアを出し合ったりしながら取り組み、思考力や協同性が育まれた。

マックス先生、
ワニ食べたんだって～!?



保護者や保育士の 世界旅行記を募集しました！！

- 様々な国について調べる中で、「サグラダファミリアを観に行くんだ!」「フランス行ったことある?」などの声上がるようになったため、英語講師や保護者、保育士の世界旅行記を募集し、園全体を巻き込んで情報を集めた。
- 旅行記を基に、更に様々な国について調べたり、オンライン交流のサイトを見たりして、各国の伝統的な遊びについて知った。また、その情報を基に、実際に遊んでみた。



イギリスの遊び 「ロンドン橋」



インドの遊び 「カバディ」



ニュージーランドの遊び 「プルラッシュ」

環境のために準備した
素材や道具・環境構成

- 旅行記募集の掲示や、記入用紙（全園児対象）
- エントランスに旅行記を掲示
- 世界の遊びが載っている本

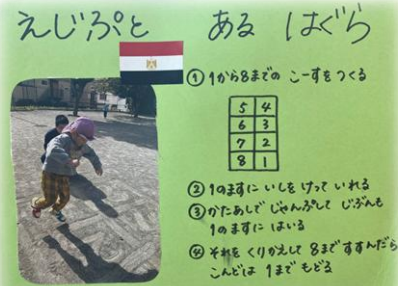
子どもたちの育ち

- 保護者を巻き込むことで、園だけの活動ではなく、家庭でも話題に上がり、より興味が深まるきっかけとなった。
- 実際に遊ぶことで、日本に似た遊びがあることや今まで耳にしたことのある遊びが海外の遊びであることに気付く。

Red rover
red rover!



“はないちもんめ”
に似てる～



お楽しみ会で、保護者や他クラスの
子どもたちに発表をしています

- 英語講師からも、アメリカの遊びや旅行をしたエジプトの遊び、また英語の掛け声を覚えを覚えてもらい、実際に英語でのやり取りをしながら遊ぶ姿があった。
- 縫いさし遊びを楽しんでいた子どもたちを中心に、民族衣装にも興味を持つ姿があったため、民族衣装のファッションショーや世界各国の遊びについて、お楽しみ会で発表した。

環境のために準備した
素材や道具・環境構成

子どもたちの育ち

- 世界に関する図鑑・刺繍糸・針・カラーポリ・端切れ・リボン・毛糸
- 遊び方やルールについての掲示
- 英語講師と挨拶をしたり遊びの掛け声を覚えて言ったりと、遊びの中で自然と英語に触れていた。
- これまでに得た知識や楽しんだ経験を、他クラスの友だちや保護者に発表しようとする中で、どんな方法で表現したら良いか、試行錯誤したり、話し合ったりと、友だちと協力しながら取り組む姿に繋がった。

全体の振り返り

昨年度、世界に目を向け始め、今年度は“国旗”に興味を持つ姿が見られた。色や模様の違いから“国”への関心が広がり、クイズで遊ぶ中でカルタ作りを提案すると、そこから“もっと知りたい”という好奇心や探求心が生まれた。自分たちで調べる中で、食べ物や建物などの文化に興味広がっていった。調べて分かったことや、やってみたいと思ったことを発信し、話し合いながら活動を進めていく姿に、主体性・思考力・協同性の育ちを感じた。興味は継続し、子どもたちの身近な“遊び”へと展開し、友だちと遊ぶ経験を通して集団遊びの楽しさを味わっていた。

昨年度からの積み重ねに加え、異年齢で過ごす中で、年上の友だちの関心が年下の友だちへと広がり、学年を問わず楽しむ姿も見られた。今後も子どもたちの興味や気付きに寄り添いながら、遊びや生活の中で世界への関心や探究心がさらに広がっていくような環境を大切にしていきたい。